

第4学年 算数科学習指導案

日 時	平成20年7月4日(金)	5校時
授業者	ぼっちりコース (ひまわり1)	菊池 和恵
	(ひまわり2)	太田 和美
	しっかりコース (4年2組)	菊地 桂子
	チャレンジコース (4年1組)	矢吹 哲郎

1 単元名 小数

2 単元について

(1) 教材について

小数は、生活の中で目にすることが多く、児童には身近であるため読んだり書いたりできる児童もいると思われる。しかし、その意味やしぐみについての理解は不十分である。そこで、教材の特性と既習の学習とを関連付け、よりよく理解させることをねらいとする。

初めに、単位量に満たないはしたの量を小数を用いて表すことを理解する。そのための素材として、かさや長さ、重さを用いる。かさや長さ、重さなどの連続量の大きさを表すには、単位量に満たないはしたの量が出るから、整数だけでは不十分である。そこで、出てきたはしたの量を小数を用いると数値化できることを理解させていく。さらに、もとの量の「 $1/10$ 」を新たな単位として、今までの長さやかさの学習でははたが出来るたびに単位を10等分して新しい単位を作り、それで測定してきたことを生かし、10等分する考えを引き出していくようにする。

次いで、小数のしぐみを理解する。単位量に満たないはしたの量が出たとき、もとの量の $1/10$ の大きさを新しい単位として、そのいくつ分かで表す学習を通して小数も整数と同じしぐみであることに気づかせるようにする。大小や順序についても0.1の何個分や整数との関連から説明させていくことで小数のしぐみを理解させていきたい。

最後に、小数についても加法、減法ができることを知る。安易に計算技能の習得を急ぐことのないように、小数も整数と同じように計算してよいことがわかるようになるまで丁寧に扱う。小数は、0.1を単位とすると整数と同じように計算できることを図や数直線をもとに理解させるようにする。筆算についても0.1をもとにした考えや位ごとに計算する考えを十分理解させてから、小数の構成と関連付けて指導するようにする。

このように、小数も整数の記数法と同じ原理である十進法位取り記数法で表現されていることを整数との関連で理解させ、小数・整数の有効性を大小比較や計算などに生かしていくようにしたい。

(2) 児童について

4年生の児童は、明るく元気な児童が多く、活発な学年である。

算数に対する意識調査を実施した結果を見ると「算数を好き」と思っている児童が8割以上いる。また、「算数の授業がわかる」と感じている児童も9割いる。授業の様子を見ても積極的に発言する児童が多く、意欲的である。また、コース別の学習にも慣れ、担任以外の先生とも楽しく授業を受けている。

しかし、学力に大きな差があったり、感覚的に思考する児童が多かったりするので、個別指導がしっかりできる「ぼっちりコース」が2クラスになることが多い。

これまでのコース別の学習の中で、「チャレンジコース」にいく児童は、自分の考えを式や言葉で表し、自分の言葉でいえるようになってきている。また、「ぼっちりコース」の児童は、図の操作から自分の考えを持てるようになってきている。

本単元のレディネステストの結果を見ると、小数での表し方を知っている児童が少ない。

そこで、習熟の程度に応じてコースを分け、小数の意味やしぐみなど小数の概念をコースの児童の指導に合わせて丁寧に指導していきたい。

尚、学年の中に特別に支援を要する児童が2名おり、特別支援のサポートの先生が2名ついて学習している。

(4) 指導にあたって

児童は、本単元でははしたの量を初めて小数を用いて表す。そこで、小数の意味や小数のしくみを理解させるために細かな段階を踏みながら指導していきたい。まず、かさや長さではしたの量を数値化していく。はしたの量を表すために1を10等分した新しい目盛りを作ればよいという考えから、「1を10等分した一つ分を0.1ということ」を知らせ、小数の意味を理解させる。また、今まで複名数(8cm7mm)で表していた長さや重さも単名数(8.7cm)で表せることに気づかせることで、小数のよさを味わわせていく。

次に、小数のしくみを理解させるために数直線上に表された小数を読んだり、表したりする。このとき、なぜその位置でいいのかの根拠を小数を0.1の何個分と見たり、整数との関連(1より0.8大きい)から考えたりしていく中で、小数の構成を理解させる。その際、児童の実態によって算数的活動の工夫をし、小数の構成が明らかになるようにしていく。

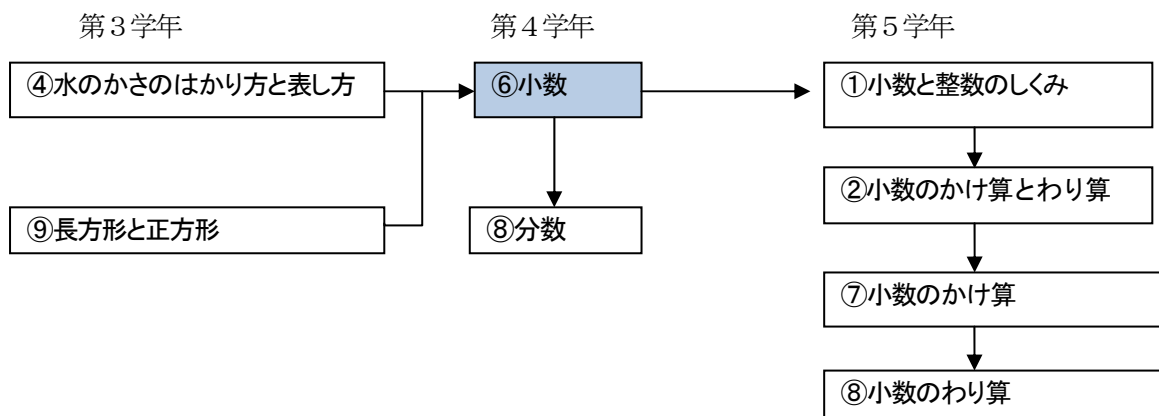
さらに、小数の加減計算では、既習の整数の加減計算のしくみを生かせば小数でも加減計算ができることに気づかせ、計算のしかたを考えさせたい。その際、0.1をもとにしてると整数と同じように計算できることを理解させる。ただ単に、整数と同じように計算し、答えに小数点を打つことだけを形式的に覚えさせるのではなく、児童の実態によって図をもとに理解できるようにしていきたい。

3 単元の見通し

小数の意味とその表し方について理解するとともに、小数の加法、減法の意味について理解し、それらを適切に用いる能力を高める。

- | | |
|------------|--|
| [関心・意欲・態度] | ・ 小数を用いると、単位量に満たない端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさを表せるよさに気づき、進んでこれを用いようとする。 |
| [数学的な考え方] | ・ 小数も整数と同じ十進構造になっていることをとらえる。
・ 単位とする数に着目すれば、小数の加減計算も整数の加減計算と同じ考え方でできることを筋道立てて説明できる。 |
| [表現・処理] | ・ 端数部分の大きさを、十進位取り記数法に基づいて、小数を使って表すことができる。 |
| [知識・理解] | ・ 1/10の位までの小数の加減計算をすることができる。
・ 小数の意味や表し方、加減計算のしかたを理解する。 |

4 教材の関連と発展



5 単元の指導計画と評価計画

時	目標	学習活動	おもな評価規準	教材分析 観点
第1次 はしたの大きさの表し方 (3時間)				
1 2	(プロローグ) ・ p56の写真を提示し、身の回りにある小数表示のものを話題として取り上げ、自由に話し合いなどをしながら、小数についての興味、関心を高めるようにする。			
	●単位量に満たないはしたの大きさを表すのに小数が用いられることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 水を10のますではかかったときの10に満たないはしたのかさのあらわし方を考える。 10を10等分した1個分のかさを「0.10」ということをしり、図に示された水のかさが何0になるかを考える。 「小数」「小数点」「整数」の意味を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】10に満たないはしたのかさの表し方に関心をもち、どのように表したらよいか考えようとしている。 【考】ものさしの目盛りなどと関連づけて、10に満たないはしたのかさの表し方を考えている。 【知】小数の意味を理解している。 	概念形成
3	○長さ(cm)の場合にも小数を用いて表すことができることを理解する。 ●小数を用いると単名数で表すことができることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 8cm7mmのテープの長さをcm単位で表すことを考える。 長さや重さの量について、小数を使った単名数での表し方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【表】長さについても小数で表すことができる。 【知】小数を用いると、複名数で表した大きさが単名数で表せることを理解している。 	原理把握 原理拡張
第2次 小数のしくみ (2時間)				
1	○小数も数直線に表せることを理解する。 ●「小数第一位」の用語を知り、小数の位取りについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 数直線上の値を小数で読んだり、表したりする。 「小数第一位」の用語を知り、小数の位取りについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【考】数直線上の小数を読む活動を通して、小数も十進構造になっていることをとらえている。 【知】小数の位取りや「小数第一位」の用語を理解している。 	原理拡張
2	○小数の相対的な大きさや数の構成、大小について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 単位がつかない場合や小数について、数の構成や相対的な大きさなどを考える。 小数の大小関係を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知】小数の構成(相対的な大きさも含む)や、大小関係を理解している。 	原理拡張
第3次 小数のたし算とひき算 (4時間)				
1	○簡単な場合の小数の加減計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 場面をとらえ、立式について考える。 0.5+0.3の計算のしかたを考える。 0.8-0.3の計算のしかたを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【考】小数を単位の何個分ととらえて、既習の整数の計算に帰着して小数の加減計算を考えている。 	原理拡張

2	○1/10 の位までの小数の加法の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面をとらえ、立式について考える。 ・$2.5+1.9$ の筆算にしかたを考える。 ・1/10 の位までの小数の加法の筆算のしかたをまとめる。 	<p>【考】整数の計算の同じように、位をそろえて小数の加法計算を考えている。</p> <p>【表】小数の加法の筆算ができる。</p>	原理拡張
3	○1/10 の位までの小数の減法の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面をとらえ、立式について考える。 ・$4.4-2.8$ の筆算にしかたを考える。 ・1/10 のくらいまでの小数の減法の筆算のしかたをまとめる。 	<p>【考】整数の計算の同じように、位をそろえて小数の減法計算を考えている。</p> <p>【表】小数の減法の筆算ができる。</p>	原理拡張
4	○1/10 の位までの小数の加法・減法の計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・$1.2+2.8$ や $24+1.5$ の筆算のしかたを考える。 ・$4.5-1.5$ や $5-1.4$ の筆算のしかたを考える。 	【表】小数の加法・減法の筆算ができる。	
まとめ (2時間)				
1	○学習内容を確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・「力をつけよう」に取り組む。 	【表】学習内容を正しく用いて問題を解決することができる。	
2	○外的な活動を通して学習内容の理解を深め、小数への興味を広げる。 ○学習内容の理解を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」で小数が身の回りのどんなところに用いられているか調べる活動に取り組む。 ・「たしかめよう」に取り組む。 	<p>【関】学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。</p> <p>【知】基本的な学習内容について理解している。</p>	

※目標の●は、本単元の中の重点

6 本時の指導

(1) 本時の目標

1/10 の位までの小数の加法の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。

(2) 本時の主な評価規準

【考】整数の計算の同じように、小数の加法計算を考えている。

【表】小数の加法の筆算ができる。

(3) 本時の具体的評価規準と支援を要する児童への対応・手立て

十分満足できる (◎)	おおむね満足できる (○)	支援を要する児童への対応・手立て
<ul style="list-style-type: none">・整数の計算と同じように小数の加法計算を考え、図や筆算で説明できる。・小数の加法の筆算ができる。(練習問題 100%)	<ul style="list-style-type: none">・整数の計算と同じように小数の加法計算を考えている。・小数の加法の筆算ができる。(練習問題 80%)	<ul style="list-style-type: none">・半具体物を示し、どのように考えていったらよいか、個別に指導する。・まとめを確認しながら、整数と同じように計算することを個別に指導する。

(4) 本時の指導について

① 本時のとらえ

1/10 の位までの小数の加法の筆算の原理を把握する授業 (加法の原理拡張)

② 原理を把握するためのコース毎の手立て

[ばっちりコース]

- ・文章問題を扱い、リットルます図を示すことで小数の具体的な量のイメージを持たせ、課題解決に役立たせる。
- ・リットルます図・数カードといった具体的操作を行い、小数の加法の原理をとらえさせる。

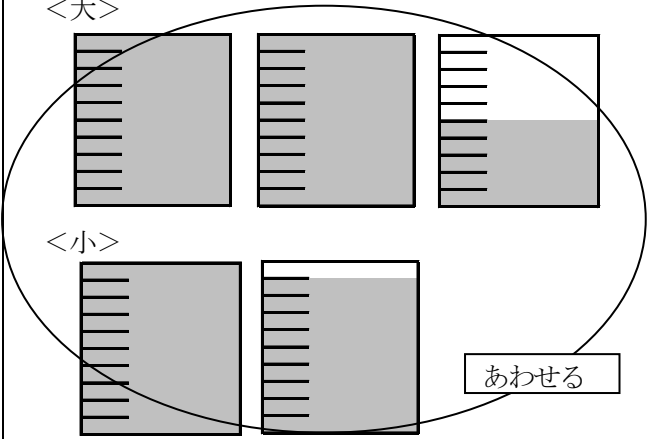
[しっかりコース]

- ・小数の加法の式から、既習の小数の加法の式との相違点を明らかにし、課題意識を持たせる。
- ・思考形態の幅が広いので、「0.1 をもとに」「位ごとに分ける」という知的操作のほかに「リットルます図」を使った具体的操作も取り入れ、小数の加法の原理をとらえさせる。

[チャレンジコース]

- ・「0.1 をもとに」「1 と 0.1 に分けて」という知的操作で課題解決させ、話し合いの中で小数の加法の原理をとらえさせる。
- ・練習問題に、整数+小数という発展問題にも挑戦させる。

(5) - 1 本時の展開 [ばっちりコース]

段階	学習過程	学習内容 (◎主な活動, ○主発問・予想される児童の反応)	指導上の配慮事項と評価 【 】主な評価の内容と方法 ◎十分満足できる ○おおむね満足できる →支援を要する児童への手立て
つかむ 7分	1. 興味・関心 2. 課題把握	<p>◎問題をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>水が、大きいポットには2. 5ℓ, 小さいポットには1. 9ℓ入ります。 水は、あわせて何ℓ入りますか。</p> </div> <p>○図から問題文の内容を確認しましょう。</p> <p><大></p>  <p><小></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">あわせる</div> <p>○どんな式になりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $2. 5 + 1. 9$ <p>○前の時間の計算 ($0. 5 + 0. 3$) と違うところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1の位が0じゃない。 ・ 数が大きい。 <p>◎学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> $2. 5 + 1. 9$ のような計算のしかたを考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求めること, わかっていることに線を引かせる。 ・ リットルます図を用い, わかっていることと求めることとの関係をとらえ問題の構造化を図る。 ・ 既習の問題との相違点を明らかにし比較することで, 課題意識を持たせる。
見通す 5分	3. 見通し	<p>◎解決方法の見通しを持つ。</p> <p>○答えはいくつくらいになりそうですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4. 4 ・ 3. 4 <p>○どのようにして考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1と0. 1をわける ・ 図 ・ 筆算 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図を見ながら, 1と0. 1をそれぞれあわせるとよいことに気づかせる。 ・ 筆算という考えが出た場合は, それを取り上げ取り組ませる。

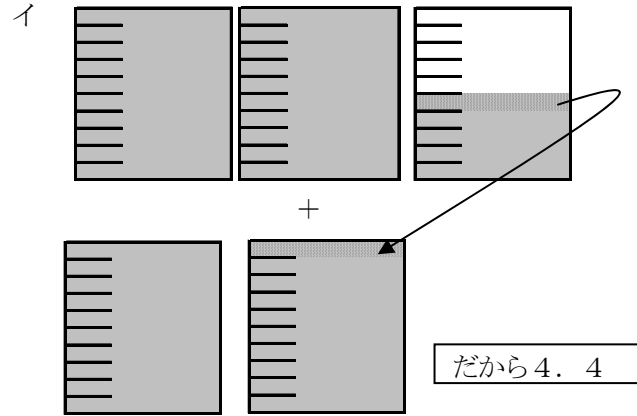
考える

4. 課題追究
(1) 課題解決

◎2. 5 + 1. 9の答えを見つける。
○それぞれの考えで答えを見つけましょう。

<予想される解決方法>

ア 2. 5は1が2個と0. 1が5個。1. 9は1が1個と0. 1が9個。あわせて1が3と0. 1が14個。0. 1が10個で1だから、全部で、4. 4。

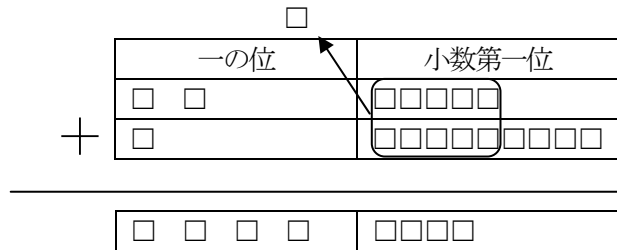


ウ

$$\begin{array}{r} 2.5 \\ +1.9 \\ \hline 4.4 \end{array}$$

(2) 解決の確認

○それぞれの考えを発表しましょう。
○筆算のしかたを図を使って考えましょう。



(3) 中間まとめ

◎2. 5 + 1. 9の筆算のしかたをまとめる。

- ・(小数第一位の計算) $5 + 9 = 14$
- ・1繰り上げる。
- ・(一の位の計算) $2 + 1 = 3$ くり上げた1と2をたして3。 $3 + 1 = 4$
- ・最後に小数点を打つ。

18.分

【考】

◎整数の計算と同じように、小数の加法計算を考え図や筆算で説明できる。
○整数の計算と同じように、小数の加法計算を考えている。
→半具体物を示し、どのように考えていったらよいか、個別に指導する。
(ノート、発言)

・筆算の形での解答は無理に出さない。

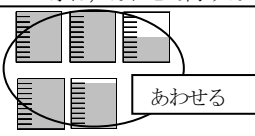
・図や言葉で考えた小数の加法計算を筆算の形式でやれないかを確認する。

・リトルマス図を数カードに置き換え操作することで、筆算のしかたを考えさせる。

・黒板上で数カードを動かしながら、一緒に筆算のしかたを確認する。

板書計画 [ばっちりコース]

④ 水が、大きいポットには2.5ℓ、
小さいポットには1.9ℓ入ります。
水は、あわせて何ℓ入りますか。



式 $2.5 + 1.9$

④ $2.5 + 1.9$ のような計算のしかたを考えよう。

④

- 4.4 3.4
- 1と0.1にわかる
- 図 筆算

④

一の位	小数第一位

(5)－2 本時の展開 [しっかりコース]

段階	学習過程	学習内容 (◎主な活動, ○主発問, ・予想される児童の反応)	指導上の配慮事項と評価 【 】主な評価の内容と方法 ◎十分満足できる ○おおむね満足できる →支援を要する児童への手立て
つかむ 5分	1. 興味・関心 2. 課題把握	問題をみて, 課題に気付く。 2. $5 + 1.9$ ○今までの計算 $0.5 + 0.9$ とどこが違いますか。 ・数字が大きい。 ・一の位が0でない。 ◎学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">2. $5 + 1.9$ のような計算のしかたを考えよう。</div>	・今までの計算と比較することで課題意識を持たせる。 ・定着問題(同構造同内容の問題)を提示する。
見通す 5分	3. 見通し	◎問題を解くための見通しをもつ。 2. $5 + 1.9$ ○答えは, だいたいいくつぐらいになりそうですか。 ・ $2 + 1$ だから, 3 より大きい ・ $0.5 + 0.9$ は 1 より大きくなるから, 4 より大きい ○どのようにして考えますか。 ・ 0.1 をもとにして考える。 ・位ごとに分けて考える。 ○何を使って考えますか。 ・図 ・計算 ・筆算	・前時の学習を想起し, 0.1 をもとに考えればよいことに気づかせる。
考える 18分	4. 課題追究 (1) 課題解決	◎見通しにしたがい, 各自, 課題解決を図る。 <予想される解決方法> ①水のかさの図	・図を使って考える児童のために, 図のプリントを準備しておく。 ・答えを求めたら, 説明をノートに書くように指示しておく。



$$4.4$$

②数カード

$$4.4$$

③計算

$$\begin{array}{r}
 2.5 + 1.9 = 4.4 \\
 \downarrow \quad \downarrow \quad \uparrow \\
 0.1 \text{ をもとにすると } 25 + 19 = 44
 \end{array}$$

④計算

$$\begin{array}{r}
 2.5 + 1.9 \\
 \downarrow \quad \downarrow \\
 2 + 1 = 3 \\
 0.5 + 0.9 = 1.4 \\
 \\
 3 + 1.4 = 4.4
 \end{array}$$

⑤筆算

$$\begin{array}{r}
 2.5 \\
 + 1.9 \\
 \hline
 4.4
 \end{array}$$

(2) 解決の確認

- ◎考えを発表し、共有化を図る。
- 同じところは、どこですか。
- ・答えが、4.4。
- ・0.1をもとにして考えている。
- ・位ごとに分けて考えている。

【考】

- ◎整数の計算と同じように、小数の加法計算を考え、図や筆算で説明できる。
- 整数の計算と同じように、小数の加法計算を考えている。
- 半具体物（水のかさを表す図）を示し、どのように考えていったらよいか、個別に指導する。
- (ノート、発言)

- ・どの考えも筆算の考えと共有するところがあることに気づかせ、筆算に集約させていく。

		(課題追究の段階で筆算が出ない場合) ◎整数の筆算のように、小数も筆算にできないか考えてみましょう。	
	(3) 中間まとめ	◎2.5 + 1.9 の計算のしかたをまとめる。 $\begin{array}{r} 2.5 \\ + 1.9 \\ \hline 4.4 \end{array}$	
確 か め る 5 分	5. 一般化	◎定着問題を解く。 ○この方法で、他の計算もできるか確かめま し よ う。 $\begin{array}{r} 2.3 + 3.8 \qquad 2.3 \\ \qquad \qquad \qquad + 3.8 \\ \hline \end{array}$	・わざと位をずらして筆算を書き、間違いに気づかせるとともに位をそろえることの大切さをおさえる。
ま と め る 12 分	6. まとめ 7. 練習問題	◎学習内容をまとめる。 ○プリントにまとめましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎小数のたし算の筆算のしかた ① (位) をそろえて書く。 ② (整数) のたしざんと同じように、(小数第一位) から計算する。 ③ 上の小数点にそろえて、答えの (小数点) をうつ。 </div> ◎練習問題を解く。 ○練習問題を筆算で解きましょう。 ① 4.7 + 2.6 ② 2.5 + 4.8 ③ 6.5 + 1.6 ④ 3.6 + 1.2 ⑤ 1.3 + 3.4	【表】 ◎小数の加法の筆算 (練習問題が 100%) できる。 ○小数の加法の筆算 (練習問題が 80%) できる。 →まとめを確認しながら、整数と同じように計算することを個別に指導する。 (ノート) ・発展問題も準備しておく。

	8. 自己評価	◎学習を振り返る。	・ 本時の学習でわかったことや学習感想を記録させる。
	9. 次時の予告	◎次時の学習内容を知り，興味をもつ。	・ 次時は，小数のひき算について学習することを確認する。

板書計画 [しっかりコース]

7 / 4

2. 5 + 1. 9

2. 3 + 3. 8

④ 2. 5 + 1. 9のような計算のしかたを考えよう。

⑤ 3より大きい 4より大きい
0. 1をもとにして考える。
位ごとに分けて考える。

⑥

2. 5 + 1. 9 = 4. 4

0. 1をもとにすると ↑

2 5 + 1 9 = 4 4

0. 5 + 0. 9

2. 3 + 3. 8

2. 3

+ 3. 8

6. 1

2. 5 + 1. 9

↓ ↓

2 + 1 = 3

0. 5 + 0. 9 = 1. 4

3 + 1. 4 = 4. 4

2. 5

+ 1. 9

4. 4

⑦ 小数のたし算のしかた

① (位) をそろえて書く。

② (整数) のたしざんと同じように (小数第一位) から計算する。

③ 上の小数点にそろえて，答えの (小数点) をうつ。

4. 4

(5) - 3 本時の展開 [チャレンジコース]

段階	学習過程	学習内容 (◎主な活動, ○主発問・予想される児童の反応)	指導上の配慮事項と評価 【】 主な評価の内容と方法 ◎十分満足できる ○おおむね満足できる →支援を要する児童への手立て
つかむ 5分	1. 興味・関心 2. 課題把握	◎既習と未習の計算を比べる。 ⑦ $2.5 + 1.9$ ⑧ $0.5 + 0.9$ ○式が $2.5 + 1.9$ になるような問題を作ってみましょう。 ○⑦と⑧の小数のたし算はどんなところが違いますか。 ・一の位が0ではありません。 ◎学習課題を把握する。 一の位が0ではない小数のたし算のしかたを考えよう。	・既習の計算と比較して、容易に計算できないことに気づかせ、課題意識をもたせる。 ・児童の気づきや表現された言葉を大事にしながらか課題を設定する。 ・ $2.5 + 1.9$ のたし算を使って、本時の学習課題について考えていくことを確認する。
見通す 5分	3. 見通し	◎解決方法の見通しをもつ。 ○どんな方法を使ったら、計算できますか。 ・筆算 ・ 0.1 をもとに考える。 ・ 1 と 0.1 を分けて考える。	・問題作りや見通しが容易にできない児童には、個別に図を提示する。図を活用し、計算の具体的な場面を想定しながら、自力解決を促す。
考える 18分	4. 課題追究 (1) 課題解決	◎見通しにしたがい、課題の解決を図る。 ○2つ以上の方法で取り組んでみましょう。 <予想される解決方法> ① 筆算 $\begin{array}{r} 2.5 \\ + 1.9 \\ \hline 4.4 \end{array}$ ② 0.1 をもとにして考える。 2.5 は、 0.1 が 25 こ 1.9 は、 0.1 が 19 こ 合わせて $25 + 19 = 44$ こ	・複数の方法で自力解決するように促す。また、筆算とそれぞれの方法を結び付けて説明できるように支援する。 【考】 ◎整数の計算と同じように、小数の加法計算を考え、図や筆算で説明できる。 ○整数の計算と同じように、小数の加法計算を考えている。 →半具体物(水のかさを表す図)を示し、どのように考えてい

	<p>(2) 課題確認</p> <p>(3) 中間まとめ</p>	<p>0. 1 が4 4 こだから, 4. 4</p> <p>③ 1 と 0. 1 を分けて考える。</p> $2 + 1 = 3$ <p>0. 5 + 0. 9 = 1. 4</p> <p>3 と 1. 4 を合わせて 4. 4</p> <p>◎考え方を発表する。</p> <p>○どうして, 整数の計算と同じように筆算ができるのか, ②と③を使って説明してみましょう。</p> <p>◎2. 5 + 1. 9 の筆算のしかたをまとめる。</p>	<p>ったらよいか, 個別に指導する。(ノート, 発言)</p> <p>・それぞれの解決方法を筆算と結びつけながら, 集約する。</p> <p>・学習プリントに穴埋め形式で記入させる。</p>
確 か め る 7 分	5. 一般化	<p>◎定着問題を解く。</p> <p>○同じ方法で答えが求められるか計算してみましょう。</p> $\begin{array}{r} 2. 3 + 3. 8 \\ 2. 3 \\ + 3. 8 \\ \hline \end{array}$	<p>・小数第一位から計算することが徹底されていない場合は, 既習の④を使いながら, その必要性を考える。</p>
ま と め る 10 分	<p>6. まとめ</p> <p>7. 練習</p> <p>8. 自己評価</p> <p>9. 次時の予告</p>	<p>◎学習内容をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小数のたし算は, 位をそろえて, 整数のたし算と同じように計算するとよい。</p> </div> <p>◎練習問題を解く。</p> <p>○練習問題を筆算で解きましょう。</p> <p>(1) $4. 7 + 2. 6$</p> <p>(2) $2. 5 + 4. 8$</p> <p>(3) $6. 5 + 1. 6$</p> <p>(4) $3. 6 + 1. 2$</p> <p>(5) $1. 3 + 3. 4$</p> <p>* (6) 2</p> $\begin{array}{r} + 3. 4 \\ \hline \end{array}$ <p>* (7) $3 + 2. 6$</p> <p>* (8) $0. 3 + 7$</p> <p>◎学習をふり返る。</p> <p>◎次時の学習内容を知り, 興味をもつ。</p>	<p>・筆算におけるそれぞれの大切なポイントを自分の言葉で考えさせ, 書くよう促したい。</p> <p>【表】</p> <p>◎小数の加法の筆算 (練習問題 100%) ができる。</p> <p>○小数の加法の筆算 (練習問題 80%) ができる。</p> <p>→まとめを確認しながら, 整数と同じように計算することを個別に指導する。</p> <p>(ノート)</p> <p>・*は, 発展問題 (異構造異内容)の問題として挑戦させる。</p> <p>・本時の学習でわかったことや学習感想を記録させる。</p> <p>・次時は, 小数のひき算について学習することを確認する。</p>

(6) - 3 板書計画

小数

㉗ $2.5+1.9$

㉘ $0.5+0.9$

㉙一の位が0ではない小数の
たし算のしかたを考えよう。

㉚・筆算

- ・0.1をもとに考える
- ・1と0.1の位を分けて考える

$$\begin{array}{r} 2.3 + 3.8 \\ 2.3 \\ + 3.8 \\ \hline 6.1 \end{array}$$

㉛〈筆算〉

$$\begin{array}{r} 2.5 \\ + 1.9 \\ \hline 4.4 \end{array}$$

㉜〈0.1をもとにすると〉

0.1が 25こ
0.1が +19こ
44こ
0.1が44こで 4.4

㉝〈1と0.1を分けて計
算する〉

$2+1=3$
 $0.5+0.9=1.4$
3と1.4を合わせて4.4

2.5+1.9の筆算のしかた

〈小数第一位の計算〉

$5+9=14$

1くりあげる。

〈一の位の計算〉

$2+1+1=4$

答え4.4

小数のたし算は、位をそろえて、整数のたし算と同じように計算するとよい。